

熊本市 感染症発生動向調査 速報



◆RSウイルスに気をつけましょう◆

RSウイルス感染症とは・・・

RSウイルスによる呼吸器の感染症で、年齢を問わず、生涯に何度も感染と発病を繰り返します。発症の中心は0～1歳児で、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の子どもが少なくとも1回は感染すると言われています。

◆どんな病気？

- ・症状……………鼻水、発熱などの軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。
 多くは軽症ですみますが、低出生体重児、心疾患、肺疾患、免疫不全のある場合は重症化のリスクが高いと言われています。また、初めての感染では症状が重くなりやすいと言われており、特に乳児の早い時期(生後数週間～数ヶ月間)に初めてRSウイルスに感染した場合には、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。
- ・潜伏期間…2～8日程度(典型的には4～6日)
- ・感染経路…感染者の咳やくしゃみのしぶきを吸い込む飛沫感染、ウイルスが付着した手や物(手すり、おもちゃ等)を触ったりなめたりすることによる接触感染があります。
- ・流行期……………例年冬季にピークが見られ、夏季は報告数が少ない状態が続いていましたが、近年は7月頃から報告数の増加傾向が見られています。



◆かかったらどうすればいいの？

・特効薬はありませんので、治療は基本的には対症療法になります。

◆予防法は？

- ・手洗い、アルコール製剤などで手指を衛生に保ちましょう。子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどは、アルコールや塩素系の消毒剤などでこまめに消毒するようにしましょう。
- ・重症化のリスクの高い乳幼児には、医師の判断のもと、重症化を予防するためにパルビズマブ(シナジス)という薬を使用する場合があります。

期 間		平成28年 第32週		平成28年 第33週	
		8/8～8/14		8/15～8/21	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	流行中 ➡	14	0.88	26	1.63
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	3	0.19	8	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	15	0.94	15	0.94
感染性胃腸炎	➡	45	2.81	50	3.13
水痘(みずぼうそう)	➡	7	0.44	3	0.19
手足口病	➡	12	0.75	10	0.63
伝染性紅斑(りんご病)	➡	2	0.13	2	0.13
突発性発しん	➡	14	0.88	15	0.94
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	➡	12	0.75	8	0.50
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	37	2.31	39	2.44
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	3	0.60	8	1.60
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	2	0.40	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	➡	12	2.40	6	1.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00